

東京大学国際卓越大学院教育プログラム
「グローバル・スタディーズ・イニシアティヴ国際卓越大学院」
2019 年度プログラム履修生募集要項

東京大学国際卓越大学院教育プログラムの目的

国際卓越大学院教育プログラムは、東京大学の最先端研究と多様な学術の中核として、修博一貫(又は学修博一貫)の学位プログラム制度を基本とした国際的に卓越した大学院教育プログラムを構築するものであり、教育研究を通して優秀な学生を更に育成することにより、新しい価値創造の試みに果敢に挑戦するとともに、他分野や異文化との積極的な対話と協働を進め、その知見を主体的な行動によって社会にフィードバックできる人材(高度な「知のプロフェッショナル」)を輩出することを目的とする。

本プログラムの目標

国際卓越大学院教育プログラムのひとつとして総合文化研究科に設置されたグローバル・スタディーズ・イニシアティヴ国際卓越大学院は、上記の目的を実現するために極めて優秀な学生を対象に修士課程から博士課程まで5年一貫の教育プログラムを実施する(修士及び博士の学位は、所属する専攻・プログラムにおいて取得する)。本プログラムは、人文社会科学の先端知を学際的・広域的に習得した上で、多言語・多文化への深い理解を有し、グローバル化により人類社会が直面する諸問題の解決に、社会の多様なセクターと協力リーダーシップをもって取り組む意欲と能力をもつ「知のプロフェッショナル」を養成することを目標とする。

求める学生像

所属専攻・プログラムの修了要件を満たし学位取得を目指しつつ、さらに、本プログラムの研究教育活動に積極的に参加し、上述の「知のプロフェッショナル」となることを志す者。

1. 申請資格

本プログラムに申請することができる大学院生は、次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ、下記(ア)～(ケ)のすべての要件をすべて満たす者とする。

所属研究科等

- (1) 本学大学院総合文化研究科の言語情報科学専攻、超域文化科学専攻、地域文化研究専攻、または国際社会科学専攻の修士課程(博士前期課程)に、2019年4月に入学した者(第1号)
- (2) 「人間の安全保障」プログラムの修士課程(博士前期課程)に2019年4月に入学した者で、上記4専攻に所属する者(第2号)
- (3) 人文社会系研究科の修士課程(博士前期課程)に2019年4月に入学した者(第3号)

要件

- (ア) 本プログラムの趣旨、履修要件等のルールを十分に理解する者
- (イ) 本プログラムにおける取得単位が所属専攻・プログラムの修了要件として認められないことを理解する者
- (ウ) 他の東京大学国際卓越大学院教育プログラムおよびリーディング大学院への併願は認められないことを了解している者
- (エ) 所属専攻・プログラムの博士後期課程に進学することを目指す者(修士課程修了後に企業等に就職することを目指す学生は、本プログラムに申請することはできない)
- (オ) 日本学術振興会(JSPS)特別研究員 DC1 に申請しなければならないこと、かつ、不採択の場合は採択されるまで DC2 に申請しなければならないことを理解している者
- (カ) 日本学術振興会(JSPS)特別研究員(DC1または DC2)に採択された場合は、本プログラムからの奨励金は支給されなくなるが、本プログラムの履修を継続しなければならないことを理解する者
- (キ) 学業評価が芳しくない場合や DC1 や DC2 に応募しない場合には、奨励金が減額されたり支給停止になったりする可能性があることを理解する者
- (ク) 修博一貫プログラムであるから、特別な事情のない限り、途中辞退は認められないことを了解している者
- (ケ) 博士の学位記に本プログラムを修了したことが付記されることを了解している者

2. 募集人員

15 名程度

3. 選抜方法

本プログラム生の選抜は、申請者の所属研究科等の種別(1)～(3)(上記「1. 申請資格」に記載)によって以下のように実施する。

- 上記(1)の資格(第1号)に該当する者の場合は、申請書類及び所属専攻の入学試験の結果をもとに総合的に判断して選抜を行う。
- 上記(2)および(3)の資格(第2号および第3号)に該当する者の場合は、修士課程初年度のSセメスターに開講される基礎科目「Supervised Readings」を履修することが求められ、その成績に基づいて選抜を行う。申請者は、各自の研究関心に応じて複数の「Supervised Readings」の中から履修科目を選択することができる。

4. 奨励金の支給

本プログラム生には、修士課程においては最大 21 カ月、博士課程においては最大 36 カ月奨励金が支給される。奨励金の月額は以下のとおりとする(注 1)。ただし、学業成績等によって、減額されることがある。

修士課程 15 万円(予定)

博士課程 18 万円(予定)

本学が提供する各種奨励金、フェローシップ、リサーチ・アシスタント(RA)との重複受給はできないが、ティーチングアシスタント(TA)、卓越リサーチ・アシスタント(卓越 RA)、ティーチングフェロー(TF)は可とする。本奨励金を受給した場合は、日本学生支援機構奨学金の貸与を受けることが原則できなくなるので留意すること。日本政府奨学金留学生及び交流協会奨学金留学生には、奨励金は支給しない。授業料免除(延納・分納)は申請可とする。

日本学術振興会(JSPS)特別研究員(DC1、DC2)に採用された場合は、本プログラム奨励金の受給資格を失うが、本プログラムの履修を継続することになる。詳細は、GSI 事務室(下記 9.

(1))まで問い合わせること。

(注1)本奨励金は雑所得の扱いとなり、税務署に所得税の確定申告が必要となる。申告漏れは脱税となるので十分注意すること。

5. 奨励金支給期間

本プログラム生の修士課程における奨励金支給期間は、申請者の所属研究科等の種別(1)～(3)(上記「1. 申請資格」に記載)によって異なる。

- 上記(1)の資格(第1号)に該当する者の場合は、2019年7月1日から2021年3月31日までとする。
- 上記(2)および(3)の資格(第2号および第3号)に該当する者の場合は、2019年10月1日から2021年3月31日までとする。

本プログラム生の博士課程における採用期間は、博士後期課程に進学後の4月から36カ月間とする。進学先は、修士課程時に在籍していた専攻・プログラムを念頭に置いているが、総合文化研究科の文系4専攻および「人間の安全保障」プログラムまたは人文社会系研究科へと進学先を変更した場合でも、奨励金を継続して受給できる。それ以外の博士後期課程に進学・入学した場合は、奨励金は支給されず、履修を継続することはできない。

6. 申請手続

「[プログラム履修申請書](#)」を下記ホームページからダウンロードし、2019年4月23日(火)から5月15日(水)までに総合文化研究科教務課総合文化大学院係窓口(下記9.(2))に提出する。(http://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/news/classes/index.html)

(注)所属専攻・プログラムの指導教員の承認が必要なので注意すること。また、Sセメスター開講の基礎科目「Supervised Readings」の履修が必須であるため、ひとつを選び履修を開始しておくこと。

7. プログラム生の選抜結果及び採用手続

選抜結果の通知方法と採用手続は、申請者の所属研究科等の種別(1)～(3)(上記「1. 申請資格」に記載)によって異なる。

- 上記(1)の資格(第1号)に該当する者の場合は、本プログラムの選抜結果は所属の専攻を通じて2019年6月20日(木)に通知する。採用内定者は、所定の期間内に必要な手続を行うこと。所定の期間内に手続を行わない場合は、採用内定を辞退したものとして取り扱う。
- 上記(2)および(3)の資格(第2号および第3号)に該当する者の場合は、2019年9月下旬に総合文化研究科掲示場(東京大学教養学部正門入って左側)にプログラム履修申請書を受理した際に通知する「受付番号」で掲示するとともに、申請者全員に対し、選抜の結果をメールで通知する。採用内定者には2019年9月下旬に予定されているオリエンテーションの際に採用手続書類を配付する。採用内定者は、所定の期間内に必要な手続を行うこと。所定の期間内に手続を行わない場合は、採用内定を辞退したものとして取り扱う。なお、オリエンテーションの日時や詳細は採用内定者に別途通知する。

8. 注意事項

- (1) 受付期間内に必要書類が完備しない申請は、受理しない。
- (2) 申請手続完了後は、どのような事情があっても、書類の変更は認めない。
- (3) 事情により、申請手続等について変更することがある。変更があった場合は、改めて通知する。
- (4) 申請をうけて知り得た氏名、住所その他の個人情報については、(ア)履修者選抜(申請処理、選抜実施)、(イ)採用内定者発表、(ウ)採用手続業務を行うため以外には使用しない。なお、採用者のみ、同情報を(エ)教務関係(学籍、修学等)に関する業務を行うためにも利用する。
- (5) 申請書における記載内容について虚偽の記載をした者は、採用後においても遡ってプログラム生であることを取り消すことがある。

9. 問い合わせ先

(1) グローバル・スタディーズ・イニシアティブ (GSI) 事務局

〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1

東京大学大学院総合文化研究科14号館205号室

電話 03-5465-8742

Email: contact@gsi.c.u-tokyo.ac.jp

(2) 総合文化研究科教務課総合文化大学院係

〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1

東京大学大学院総合文化研究科事務部教務課総合文化大学院係

電話 03-5454-6050(6049)

2019年4月

資料1

グローバル・スタディーズ・イニシアティブ国際卓越大学院における修了要件について

2019年4月

1. 修士課程から履修する学生の修了要件

- a. 所属する専攻・プログラムにおける修士課程を修了する。
- b. 修士課程在籍中に基礎科目「Supervised Readings」から2単位以上、「研究技法トレーニング」から2単位以上を取得し、Qualifying Examination (QE) に合格する。
- c. 博士課程在籍中に「インターンシップ」2単位、「レクチャーシップ」2単位、「国際共同研究マネジメント」2単位を取得し、Final Examination (FE) に合格する。
- d. 本プログラム在籍中に専門科目「グローバル・スタディーズ俯瞰論」から2単位以上、「グローバル・スタディーズ解析論」から2単位以上を取得する。
- e. 上記の条件を満たしたうえで、所属する専攻・プログラムにおける博士論文審査に合格する。

2. 博士課程から履修する学生の修了要件（社会人入学のみ）

- a. 基礎科目「Supervised Readings」から2単位以上、「研究技法トレーニング」から2単位以上を取得し、QE に合格する。
- b. 「インターンシップ」2単位、「レクチャーシップ」2単位、「国際共同研究マネジメント」2単位を取得し、FE に合格する。
- c. 専門科目「グローバル・スタディーズ俯瞰論」から2単位以上、「グローバル・スタディーズ解析論」から2単位以上を取得する。
- d. 上記の条件を満たしたうえで、所属する専攻・プログラムにおける博士論文審査に合格する。

資料2

教育課程及び修了要件

授業科目名等	単位数	履修方法	備考
【基礎科目】			
Supervised Readings I	2	選択必修 2単位	
Supervised Readings II	2		
Supervised Readings III	2		
Supervised Readings IV	2		
研究技法トレーニング I	2	選択必修 2単位	
研究技法トレーニング II	2		
研究技法トレーニング III	2		
研究技法トレーニング IV	2		
研究技法トレーニング V	2		
【専門科目】			
グローバル・スタディーズ俯瞰論 I	2	選択必修 2単位	
グローバル・スタディーズ俯瞰論 II	2		
グローバル・スタディーズ俯瞰論 III	2		
グローバル・スタディーズ俯瞰論 IV	2		
グローバル・スタディーズ解析論 I	2	選択必修 2単位	
グローバル・スタディーズ解析論 II	2		
グローバル・スタディーズ解析論 III	2		
グローバル・スタディーズ解析論 IV	2		
【インターンシップ】			
グローバル・スタディーズ実験実習	2	必修	
【レクチャーシップ】			
グローバル・スタディーズ教育演習	2	必修	
【国際共同研究マネジメント】			
グローバル・スタディーズ国際共同研究実習	2	必修	

◆プログラム修了要件

所属する専攻・プログラム等の修了要件に加えて、必修科目、選択必修科目から合計 14 単位以上を取得し、QEおよびFEに合格すること。

資料3

2019年度開講科目時間割

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室
修士	博士						
31M390-0010S	31D390-0010S	Supervised Readings I	武田 将明	2	S	集中	初回ガイダンス:4月24日(水)6限:18号館1階メディアラボ2
31M390-0011S	31D390-0011S	Supervised Readings I	田中 伸一	2	S	集中	初回ガイダンス:4月24日(水)6限:18号館1階メディアラボ2
31M390-0020S	31D390-0020S	Supervised Readings II	森元 庸介	2	S	集中	初回ガイダンス:4月25日(木)6限:8-210
31M390-0021S	31D390-0021S	Supervised Readings II	関谷 雄一	2	S	集中	初回ガイダンス:4月25日(木)6限:8-210
31M390-0022S	31D390-0022S	Supervised Readings II	三浦 篤	2	S	集中	初回ガイダンス:4月25日(木)6限:8-210
31M390-0030S	31D390-0030S	Supervised Readings III	小川・伊藤	2	S	集中	初回ガイダンス:4月23日(火)12時15分～45分:8-210
31M390-0040S	31D390-0040S	Supervised Readings IV	遠藤・キハラハント	2	S	集中	初回ガイダンス:4月23日(火)12時15分～45分:8-210
31M390-0110S	31D390-0110S	研究技法トレーニング I	森元 庸介	2	S	金5	8-323
31M390-0111S	31D390-0111S	研究技法トレーニング I	名和 克郎	2	S	水5	14-407
31M390-0112A	31D390-0112A	研究技法トレーニング I	岩本 通弥	2	A	金3	
31M390-0113A	31D390-0113A	研究技法トレーニング I	寺田 寅彦	2	A		
31M390-0114S	31D390-0114S	研究技法トレーニング I	月脚 達彦	2	S	月5	8-112
31M390-0115A	31D390-0115A	研究技法トレーニング I	吉国 浩哉	2	A		
31M390-0120S	31D390-0120S	研究技法トレーニング II	宮地 隆廣	2	S	火3	14-407(学部合併)
31M390-0121S	31D390-0121S	研究技法トレーニング II	中澤 恒子	2	S	木3	8-207
31M390-0122A	31D390-0122A	研究技法トレーニング II	グレン・イザベル	2	A		
31M390-0123A	31D390-0123A	研究技法トレーニング II	倉田 博史	2	A		
31M390-0130A	31D390-0130A	研究技法トレーニング III	山口 輝臣	2	A		
31M390-0131S	31D390-0131S	研究技法トレーニング III	蔵本 龍介	2	S	月2	14-407(学部合併)
31M390-0132A	31D390-0132A	研究技法トレーニング III	津田 浩司	2	A	火2	
31M390-0133S	31D390-0133S	研究技法トレーニング III	ゴチェフスキ, ヘルマン	2	S	月6	学際交流ホール
31M390-0140A	31D390-0140A	研究技法トレーニング IV	清水 剛	2	A		
31M390-0141A	31D390-0141A	研究技法トレーニング IV	佐藤 俊樹	2	A		
31M390-0142S	31D390-0142S	研究技法トレーニング IV	内山 融	2	S	月3	8-210(法学政治学合併)
31M390-0150A	31D390-0150A	研究技法トレーニング V	田辺 明生	2	A	水2	
31M390-0151S	31D390-0151S	研究技法トレーニング V	橋本 摂子	2	S	水3	8-324(学部合併)
31M390-0152A	31D390-0152A	研究技法トレーニング V	橋本 摂子	2	A		

1. 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
2. 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
3. 教室欄の○-○○○は、(号館)-(部屋番号)を表す。
4. 「Supervised Readings I～IV」のうちどれか1科目を入学年度のSセメスターに必ず履修すること。

資料4

Supervised Readings 初回ガイダンス日時

科目名	担当教員	初回ガイダンス日時・会場
Supervised Readings I	武田 将明	4月24日(水)6限 18号館1階メディアラボ2
Supervised Readings I	田中 伸一	4月24日(水)6限 18号館1階メディアラボ2
Supervised Readings II	森元 庸介	4月25日(木)6限 8号館210
Supervised Readings II	関谷 雄一	4月25日(木)6限 8号館210
Supervised Readings II	三浦 篤	4月25日(木)6限 8号館210
Supervised Readings III	小川・伊藤	4月23日(火)12時15分～45分 8号館210
Supervised Readings IV	遠藤・キハラハント	4月23日(火)12時15分～45分 8号館210

グローバル・スタディーズ・イニシアティヴ国際卓越大学院
2019年度プログラム履修生募集
全体ガイダンスについて

日時:2019年4月18日(木)18:45～

場所:駒場キャンパス 1号館101教室